



21世紀への酪農新技術

【発行日】 1997年3月発行

【監 修】 岡本 全弘

【判型/頁数】 B5 203ページ

【目次】

●第Ⅰ部 経営・管理

- 第1章 異常行動と家畜の福祉—健康とストレス—
- 第2章 搾乳の自動化と乳牛の飼養管理システム
- 第3章 データキャリアシステム—個体識別や行動情報によって酪農場はどう変わるか—
- 第4章 酪農施設の近未来を考える
- 第5章 家畜ふん尿処理の現状と将来
- 第6章 インターネット活用酪農支援システム

●第Ⅱ部 予防・衛生

- 第7章 21世紀の農薬を考える
- 第8章 施肥改善による土壤病害の防除法—ジャガイモそうか病—
- 第9章 動物用ワクチンの現状と開発方向
- 第10章 免疫学の進歩と家畜への応用—サイトカインテクノロジー—
- 第11章 ブラッド(BLAD)はヒト・ラッド(LAD)の骨髄移植・遺伝子治療のモデル

●第Ⅲ部 栄養・飼料

- 第12章 高消化性遺伝子bmrを利用した高品質ソルガム品種
- 第13章 ルーメン微生物の遺伝子操作とその応用
- 第14章 コンピュータシミュレーションを用いた新しい飼養標準の胎動
- 第15章 キノコを利用したワラ類の飼料価値改善(人工第五胃)

●第Ⅳ部 育種・改良

- 第16章 ゲノム解析による牛の改良—酪農への夢—
- 第17章 優良牛増殖のための胚クローニングの応用

●第Ⅴ部 乳・乳製品と消費

- 第18章 牛乳・乳製品市場構造の変化と将来展望